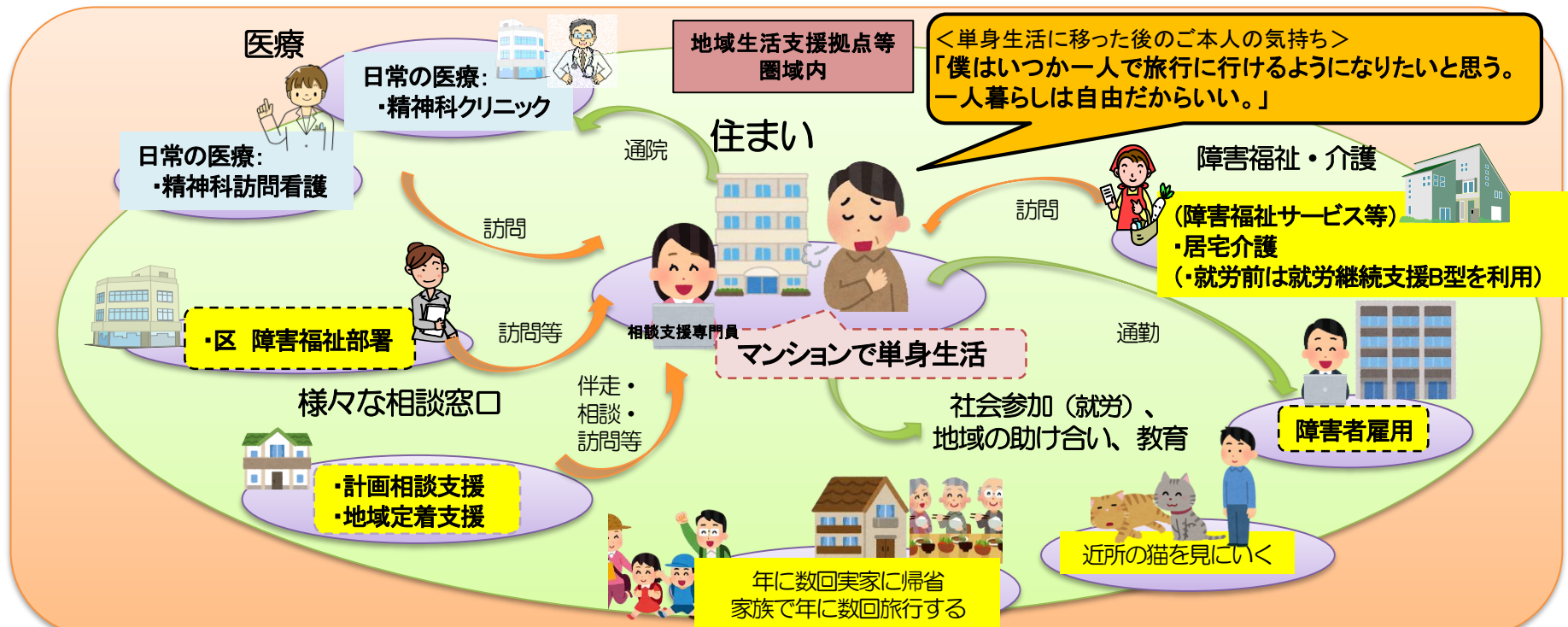


Eさん 30代
知的障害・精神障害
障害支援区分3

入退院を繰り返した後に知的障害者向けのグループホームに入所も、精神症状等もあり再入院と共に退居となる。その後、宿泊型自立訓練を経て、一人暮らしを目指すために通過型グループホームへ。一人暮らしを見越した生活支援を2年半利用した後に単身生活を開始した方の事例。（グループホーム1年6ヶ月→サテライト1年→サテライトの住居を本人契約に切り替えて単身生活となり約1年の状況）

Eさんへのグループホーム入居中の支援：生活力はあるものの、共同生活や恋愛等で思うようにならない時のストレスで荒れてしまっていた。職員と一緒に対処法を考えたり、Eさんのできていることを伝えたりしていく中で自分なりに過ごしていけるようになった。

【Eさんのサービス等利用計画での生活の希望】一人暮らしを目指しグループホームを利用。入居後2年半で一人暮らしへ。安心してひとり暮らししていきたい。



	月	火	水	木	金	土	日
午前	就労 (障害者雇用)	就労 (障害者雇用)	通院1/3週	就労 (障害者雇用)	就労 (障害者雇用)	居宅介護	
午後			精神科 訪問看護				

* 計画相談モニタリング、自立生活援助は終了したが困ったことがあると職員に電話することができる。* 不調時には地域定着、訪問看護携帯対応

この後、実際に都内で支援を受けながら暮らしていらっしゃる方々のお話を聴かせていただくことができると聞いています。

ご本人からのお話を聴くことができる機会が少しずつ増えてきていますが、まだまだ少ないのが現状なので、とても楽しみにしています♪

どうぞよろしくお願ひ致しますm(__)m

地域共生社会とは

◆制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、**住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会**

支え・支えられる関係の循環

～誰もが役割と生きがいを持つ社会の醸成～

- ◇居場所づくり
- ◇社会とのつながり
- ◇多様性を尊重し包摂する地域文化



- ◇生きがいづくり
- ◇安心感ある暮らし
- ◇健康づくり、介護予防
- ◇ワークライフバランス

すべての人の生活の基盤としての地域

- ◇社会経済の担い手輩出
- ◇地域資源の有効活用、雇用創出等による経済価値の創出

地域における人と資源の循環

～地域社会の持続的発展の実現～

- ◇就労や社会参加の場や機会の提供
- ◇多様な主体による、暮らしへの支援への参画

すべての社会・経済活動の基盤としての地域



農林



環境



産業



交通

